

3 医療センター

1階の外来内科部門は、診察室を広くしました。(8.96m² → 17.33m²) また、処置室も大きくし、これまで散在していた点滴用ベッドを1カ所に集め管理しやすい形としました。更に救急搬送された方を診る部屋も一つ確保することができ、これにより人目に曝すことなく救急処置が可能となりました。(救急出入口も広く取り屋根付きとしました。) 2階においては透析センターのワンフロアー化を実現いたしました。また入院病棟は、これまで3階、4階の2カ所に分かれていたものを集約し3階に集め、無駄を省き看護効率を上げるようにしました。3階病棟の廊下や病室もこれまでより大きく広くゆったりとした作りになっています。一方、痔で入院された方用のお風呂も(座浴)4つ完備され何時でも利用しやすいように取りはからっております。(写真④) このように、外来、病棟部門も健診センター同様、患者様のアメニティー向上を中心に考え設計にあたりました。



4 今後に向けて

病院が新しくなったということは、利用者の方だけでなく我々、病院従業員にとっても使い勝手、居心地の良いものであり、そのことがまた我々の仕事に好影響を与えるものと確信しております。この機会に「働く人及び近隣住民のための病院」ということを職員一同再認識し頑張っていく所存でございます。何卒、ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

駐車場より雨に濡れず病院まで来れる雁木



不二越病院正面



新しい 不二越病院の紹介

昨年より施工しておりました不二越病院の増改築工事も愈々終了し、10月5日、当病院内で井村社長の下、竣工式を執り行いました。そこで、今回はリニューアルした不二越病院を紹介いたします。

1 増改築の主旨

増築部分は3階建1,790m²で、既設病院と合わせ延面積は6,388m²の建物となりました。(既設部分も約1,100m²を改修しました。) 旧病院では健診部門と医療部門の区分けがしっかり成されておらず、健診や人間ドックを受けにいらした方が、一般の患者様と隣り合わせだったり、また、健診だけなのに待ち時間が長かったり色々な欠点がありました。そこで健診、人間ドックを利用される方の利便を第一に考え、今回の増改築では健診センターと医療センターの区分けを図りました。更に、健診部門のアメニティーの向上も目指しました。



不二越病院
院長代理
大野 晃

2 健診センター (元 健康管理室)

駐車場から電熱式融雪装置を敷設した屋根付き通路を通り病院正面玄関を入りますと、まず、「気清々養体」の書が目に入ると思います。(写真①) これは、株式会社不二越の創業者である、井村荒喜氏の筆によるものです。井村社長より、竣工の記念にと贈られたものですが皆様の健康を預かる当病院に相応しい言葉です。さて、飾られてある書を境にして、向かって右側が健診センター、左側が医療センターとなります。



新しく完成した健診センターは、広さが336m²と増改築前の31.8m²の約10倍になっています。検査や診察を行う部屋も個別に確保することが可能となり、人間ドック利用者様用の更衣室も完備することができました。また廊下幅を広くし、絵画や調度品を飾り、人間ドックの待合ラウンジ(写真②)も少し贅沢な作りとして、来ていただいた方に少しでもゆったりとした感じを持っていただく工夫いたしました。また、ドック受診者様に4階に専用食堂も配置しました。(写真③) 以上のように、なるべく来ていただいた方のストレスを軽減させるような作りを目指しました。

